

氏名： 長谷川 直子 (HASEGAWA Naoko)
所属： 人間文化創成科学研究科先端融合系
職名： 准教授
学位： 博士 (理学)
専門分野： 自然地理学
E-mail： hasegawa.naoko@ocha.ac.jp

◆研究キーワード / Keywords

琵琶湖／諏訪湖／密度流

◆主要業績

- Kitazawa, Kumagai, Hasegawa(2010)Effects of internal waves on dynamics of hypoxic waters in Lake Biwa. Journal of the Korean society of marine environmental engineering. Vol.13,No.1.pp.30-42, February 2010.
- 長谷川直子 (2010) 授業実践報告①—自然と人間編—。お茶の水地理 50. 143-150.
- 田中博春・小林仁美・長谷川直子 (2010) 島緑地の気候緩和効果に関する基礎研究。お茶の水地理 50. 106 – 111.
- 水野勲・長谷川直子ほか (2010) 諏訪巡検報告。お茶の水地理. 50. 151 – 162.

◆研究内容 / Research Pursuits

琵琶湖の中の水の動き、気候変動が水塊に与える影響

◆教育内容 / Educational Pursuits

文教育学部の中で唯一自然科学を基礎とした教育をやっています。お茶の水女子大学では現在、文理融合リベラルアーツという基礎教養教育が動き出していますが、文理が融合しているという意味では地理学はその中心にある学問だと考えています。自然科学だけを学ぼうとするのならば完全な理学系の学部や学科へ行く方がその専門性は身につくでしょう。私のいる自然地理学・環境地理学研究室は、自然科学的アプローチを基礎としつつも、社会・人文科学視点も交えて物事を見ていくことを目指しています。こういったものの見方や考え方は社会に出てからも自分の人生観を形成する上でも重要であると考えています。また、日本の中で、女性の自然地理学者はとても少ないのですが、女性の自然地理学者を輩出する数少ない機関としての使命も果たして行きたいと考えています。女性がのびのびと研究し、日本の女性自然地理学者のタマゴたちが集える場になればと思っています。

◆研究計画

水草を用いた水質保全とエネルギーづくりをテーマとして、現在の自由経済下での環境負荷型の社会システムを環境にやさしいシステムに替えていくことを目指している